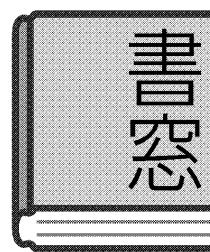




マグエバー社長

さわど のりこ
沢渡 紀子氏

自然が心を豊かにする『旅をする木』

子どもの頃から冒険物語をたくさん読んでおり、空想することも好きだ。自然に対する憧れがあり、自然に関する書籍も読んだ。磁石製品を扱う会社を営んでいた父と大学生の頃に米国ミネソタ州に牛の胃をする磁石の収集に行つたことがある。周りは何もないところでカメラを牛に向けると一斉に逃げていった。すると群れのリーダーと思われる牛だけが残り、じつと見つめられることを鮮明に覚えている。

アラスカでの生活をつづった写真家の星野道夫著『旅をする木』は何度も読み返した。意識が自然豊かな世界へと引き込まれ、子どもの頃に見た光景が浮かんでくる。心

が疲れている時や悲しい時に読むと、豊かな気持ちになれる。

同書の中で「ぼくたちが毎日を生きている同じ瞬間、もうひとつの時間が流れている」という一節

が印象に残っている。白神山地で趣味の釣りをしていると地元の人が「この間そこでクマが水浴びしていた」などと教えてくれることがある。

仕事で忙ただしい時に、ふと白神山地のクマは今何をしているんだろう

と口癖のように言っていた。会社の創業や釣りを通して多くの人と知り合った。会社の創業や釣りを通じて多くの人と知り合った。世の中の役に立ちたいと利他の心で主力事業の磁石の魅力を発信している。

一方、自分自身が仕事を楽しむ気持ちがないと誰も幸せにできないし、経営もうまくいかない。

悩んだ時こそ、自然について考えることで気持ち

が好きで、好奇心が駆り立たられる。白神山地で

クマと戦ったマタギの話や命を懸けた登山の話に触ると、とてもわくわくする。死と隣り合わせ

アラスカでの生活をつづった写真家の星野道夫著『旅をする木』は何度も読み返した。意識が自然豊かな世界へと引き込まれ、子どもの頃に見た光景が浮かんでくる。心

応援引き寄せる

● 余滴 ●

立つものを開発し、人を立つものを作りたい」という沢渡社長。磁石の可能性に共感した協力会社と出合った。磁石とシリコンを組み合わせたオリジナル商品を開発。ネオジム磁石に吸盤機能を付けた「マグプラス」は屋内外での収納などを効率化できると好評だ。磁石への情熱は応援する人を引き寄せている。(岡紗由美)

悩んだ時 気持ち切り替える